

## 再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課： \_\_\_\_\_  
担当課長名： \_\_\_\_\_

<b>事業名</b> 一般国道121号 大峠道路	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 福島県	
<b>起終点</b> 自：福島県耶麻郡熱塩加納村日中 至：福島県喜多方市松山町鳥見山		<b>延長</b>	6.6 km
<b>事業概要</b> 一般国道121号は、山形県米沢市を起点とし、栃木県芳賀郡益子町に至る延長約275kmの幹線道路である。 大峠道路は、山形県米沢市との連携強化と異常気象時通行規制区間の解消を目的とした延長6.6kmのバイパス整備事業である。			
H8年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H8年度用地着手	H8年度工事着手
全体事業費	約98億円	事業進捗率	71% 供用済延長 1.5km
計画交通量	4,559台/日		
<b>費用対効果分析結果</b>	B / C (事業全体) 1.3 (残事業) 4.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 26 / 120 億円 事業費：19 / 111 億円 維持管理費：7 / 9 億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 119 / 152 億円 走行時間短縮便益：112 / 143 億円 走行費用減少便益：2 / 3 億円 交通事故減少便益：5 / 5 億円
<b>事業の効果等</b> ・国土・地域ネットワークの構築（大型車すれ違い困難箇所の解消） ・災害への備え（異常気象時通行規制区間の解消）			
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> ・地元熱意は高く、国道121号大峠道路整備促進期成同盟会より早期整備を要望されている。			
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> ・緊急輸送道路第一次確保路線（平成9年度）に位置付けられ、より一層重要性が増している。			
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> ・平成13年度までに一部区間L=1.5kmを供用している。現在は残る区間の橋梁工事を進めている。			
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> ・現在まで用地買収を97%完了しており、今後は残る主要構造物の工事を進め、計画的な投資により整備を進める。			
<b>施設の構造や工法の変更等</b> ・再生路盤財投の利用を積極的に進め、コスト縮減を図っている。 ・耐候性鋼材を鋼製橋梁に採用し、ライフサイクルコストの軽減を図っている。			
<b>対応方針</b> 対応方針決定の理由 ・以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
<b>事業概要図</b> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="width: 25%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">                 事業再評価             </div> <div style="width: 75%;"> </div> </div>			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。